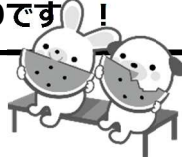


# 社協ワーカーだより

No. 71 平成30年8月

地域のみなさんや関係機関の方々に向けて社協ワーカー（職員）の動きや社協の事業について情報発信するお便りです！



発行：福岡市社会福祉協議会地域福祉課（TEL720-5356）  
各区社会福祉協議会

## RUN 伴+2018 開催します！

～認知症があってもなくても安心して暮らせるまちづくりを目指して～

### ◆RUN 伴+（プラス）とは？

RUN 伴（ランとも）とは、認知症の人や家族・支援者・一般の人が、一つのタスキを少しずつつり継ぎながらゴールを目指す全国プロジェクトです。

RUN 伴+（プラス）は、RUN 伴を主催している『NPO 法人認知症フレンドシップクラブ』の姉妹プロジェクトとして、RUN 伴と理念を共有しつつ、地域独自性、柔軟性を生かしたプロジェクトとして運営されています。

また、RUN 伴+（プラス）の収益の一部は Be Orange（認知症まちづくり基金）や、認知症の方が住みやすいまちづくりへの助成にあてられます。

福岡市では 2015 年からスタートし、今年で 4 年目になります。福岡市社協はこの取り組みの事務局を担っており、今年度は、各区ごとに区社協や福祉施設・事業所の職員を中心に運営委員会を立ち上げることとなりました。『認知症があってもなくても安心して暮らせるまちづくりを応援します』を合言葉に、誰もが住みやすいまち、そして皆さん自身が幸せに暮らしていけるきっかけづくりを目指して、現在取り組みを検討しています。今年は 9 月～10 月頃に各区でそれぞれイベント等を実施し、11 月頃には合同でパレードを行う予定です。



### ◆RUN 伴+2018 開催に向けて（城南区の事例紹介）

城南区エリアでは、今年度はこれまでとは趣向を変え、福祉事業所の関係者だけでなく地域活動を実践している住民の方々も加えた形で運営委員会を構成しています。運営委員会の中では、現在、RUN 伴の啓発活動と地域活動をリンクさせたイベントを実施できないか検討を重ねています。



様々な立場の人が一緒に話し合っています

その中の一つとして、まずはミズベリング（「水辺」の可能性に着目し、そのエリアを中心に暮らしやすい豊かな社会づくりをしようという活動）とコラボし、RUN 伴のオレンジの T シャツを着て啓発をしながら川辺の清掃活動を行う計画も進めています。

その他、認知症サポーター養成講座等を通して今後同じ志を持った仲間を増やしていきながら、当事者の方・地域住民の方・事業所・企業等がつながる機会を作りたいと考えています。

～各区の取り組み・イベント等の詳細については各区社協へお問合せください～